

# 水田たより 1月号

令和6年1月5日

JA みえきた

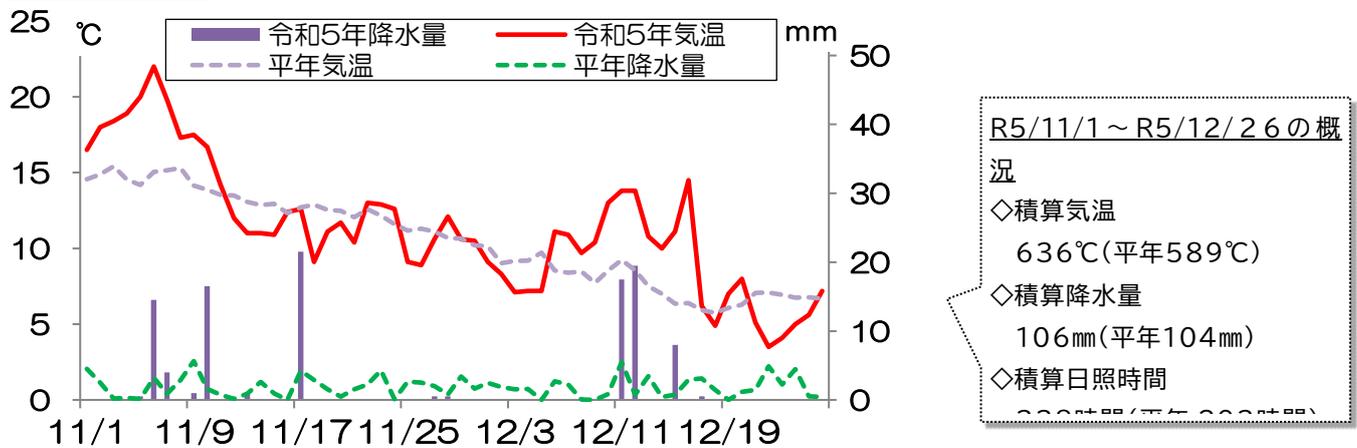
桑名地域農業改良普及センター

## 麦

### 気象状況と生育状況

11月上旬の気温が平年よりも3～5℃ほど高く推移した影響で、11月上旬播種のほ場では生育が進んでいます。一方、11月中旬以降は平年並み程度で推移しているため、11月中旬以降播種のほ場では生育は平年並みとなっています。積算降水量は平年並みですが、11月中旬や12月中旬に集中して降水量が多くなっています。

#### <気象状況>



#### <生育状況>

地域	品種	播種日	平年との比較			
			茎数	草丈	葉齢	葉色
桑名・木曾岬	小麦「さとのそら」	11/14	やや少	やや小	同程度	同程度
いなべ・東員	小麦「あやひかり」	11/2	多	大	早	同程度
	大麦「ファイバースノウ」	11/5	同程度	同程度	早	やや濃

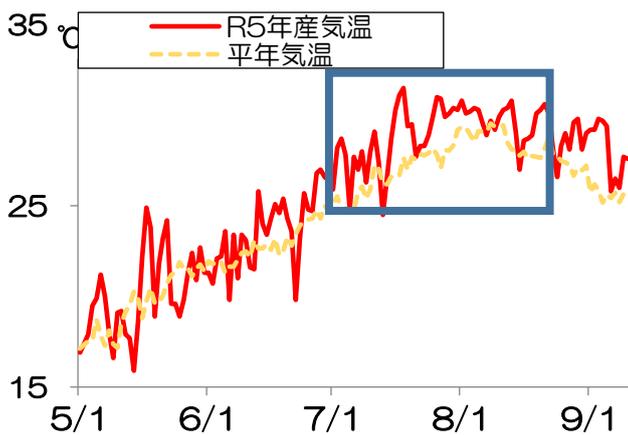
## 麦

### つなぎ肥について

今後はつなぎ肥を施用して、葉色を維持しましょう。葉色が薄くなる前に（SPAD値が40未満の場合に）施用してください。11月上旬に播種したほ場では、肥料が溶出し、生育が進んでいるために、葉色が早く落ちる可能性があります。麦の生育状況に注意して、つなぎ肥を施用してください。また、大麦は基肥に緩効性肥料を施用した場合、2月以降に追肥を行うと硝子粒が増えやすくなります。基肥に緩効性肥料を施用した場合は、必ず1月中に追肥を完了させましょう。

#### <つなぎ肥の施用時期と窒素量>

種類	基肥に緩効性肥料を施用した場合		分施(緩効性肥料でない)の場合	
	時期	窒素目安量	時期	窒素目安量
小麦	1月上旬～2月中旬	2～2.5kg/10a	1月上旬～1月中旬	1.5～2kg/10a
大麦	1月上旬～1月下旬			



令和5年産水稻では、記録的な高温に稲がさらされました。高温となった種もみは休眠が深くなる傾向があります。特に休眠が深い品種は注意しましょう。浸種について積算気温が100℃以上になるように行いましょう（目安：10℃10日間、12～15℃8日間）。また、休眠打破対策として、育苗器を利用し40℃、7日間処理を目安に行うことが有効です。

塩水選を行い、より充実した種子を播種しましょう。塩水選に用いる塩水は比重 1.13（水 10L に対し食塩 2.1kg）で行いましょう。また、塩水選が難しい場合は、水選でも有効です。

経営

GAP(農業生産工程管理)の実践でよりよい経営へ！

■GAPは農業を持続するための基礎（5分野）に内在する様々なリスクを管理し、農業経営の効率化を図る手法です。

農業を維持するための基礎（5分野）

- ①**食品安全** 農産物の汚染、異物混入の防止
- ②**労働安全** 農作業の安全確保、健康状態配慮
- ③**環境保全** 化学農薬・化学肥料使用量低減
- ④**労務管理** 労働環境の整備や労働条件の遵守
- ⑤**農場運営** 責任者や役割分担の明確化、教育訓練

得られるメリットは農場次第です。能動的に取り組むことで経営者も労働者も変わります！

■品質保証の考え方の変化

従来の考え方

農産物検査等の結果管理に基づく事後対応型  
→全農産物を確認することはできない。

GAPの考え方

工程管理に基づく予防型  
→全農産物で信頼性向上が期待できる！

■工程管理はできるところから始めましょう。まずはここから！

- 5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）**
- 3定1表示** 定品（決まったものを） 定量（決まった量で） 定位置（決まった位置に）  
危険表示（危険を認識できるように危険箇所・区域を表示）
- **計画** 作業工程ごとに**ルールを作る** → **実行** ルールに従って**実行、記録する**
- **点検** 計画どおりに実施しているか**記録を確認**する → **改善** 内容を見直す
- **計画** → **繰り返してより良くしていく**
- GAPチェックシートの活用** 現状を把握でき改善に役立ちます。詳細は普及センターまで！

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページでご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。